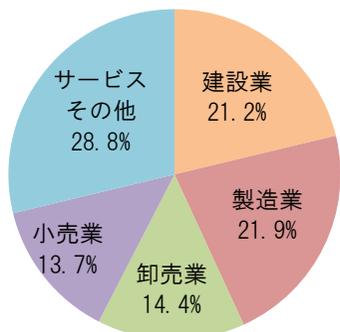
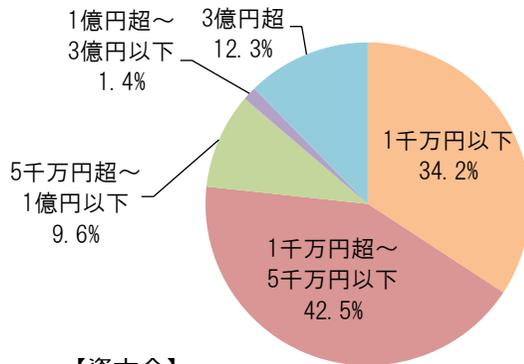


1. 調査期間 2024年1月9日(火)~2024年1月26日(金)
2. 調査対象 札幌商工会議所定期景気調査 登録企業537社
3. 回答状況 146社 (回答率27.1%)
4. 調査項目
  - ①1月の業況と先行き見通し
  - ②昨年と比較した、今年(2024年)の業況の見通し
  - ③年度末に向けた資金繰りの状況
  - ④2023年度の新卒採用(2024年4月入社)の動向
5. 回答企業属性

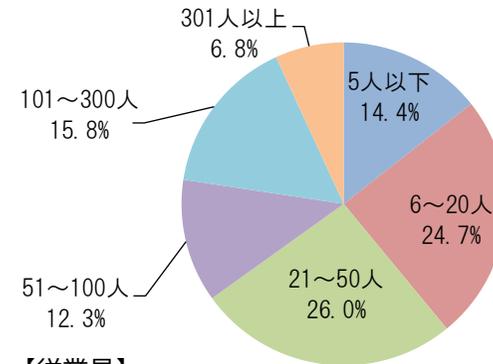
【業種】



【資本金】



【従業員】

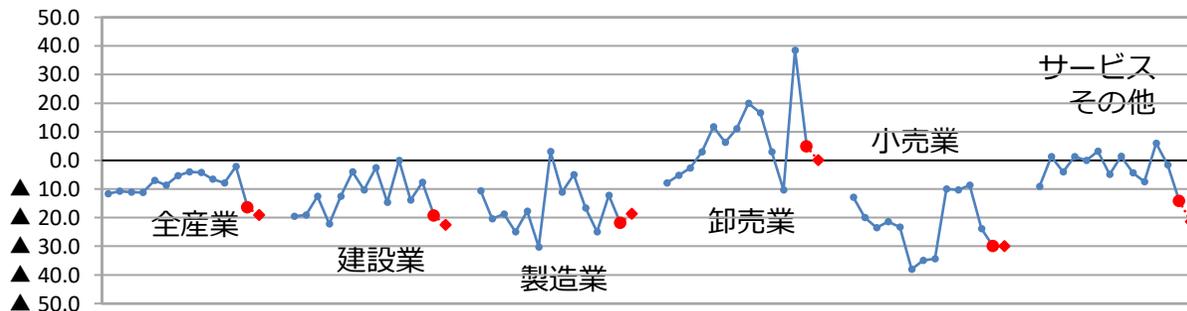


## ① 1月の業況と先行き見通し

全産業合計の業況DIは▲16.4と、14.3ポイントの悪化。先行き見通しDIは▲19.2と悪化の見込み。

	2023年	2024年	
	12月	1月	2月~4月
全産業	▲2.1	▲16.4	▲19.2
建設	▲7.7	▲19.4	▲22.6
製造	▲12.2	▲21.9	▲18.8
卸売	38.5	4.8	0.0
小売	▲23.8	▲30.0	▲30.0
サービスその他	▲1.6	▲14.3	▲21.4

※ ● 2024年1月(今月)DI ◆ 先行きDI ▽ 業況DIの推移 (2023年1月以降)



※DI値について…ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

※先行き見通しDI=当月(1月)と比べた、向こう3ヶ月(2月~4月)の先行き見通し

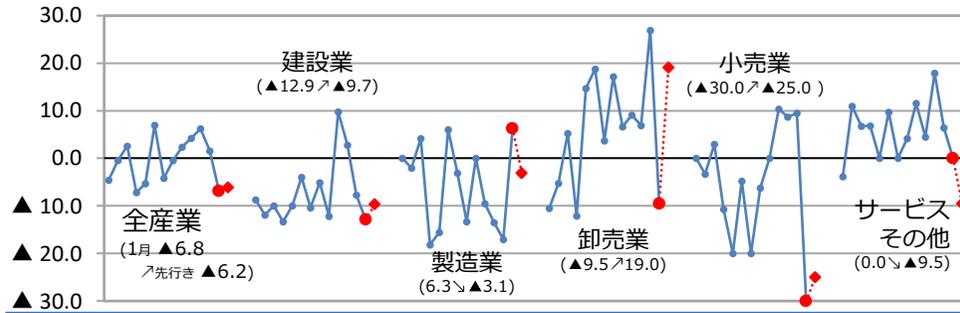
【例】

$$\text{業況DI} = \frac{(\text{好転} - \text{悪化}) \times 100}{(\text{好転} + \text{不変} + \text{悪化})}$$

### 1) 売上D I と先行き見通し

▽売上D I の推移 (2023年1月以降)

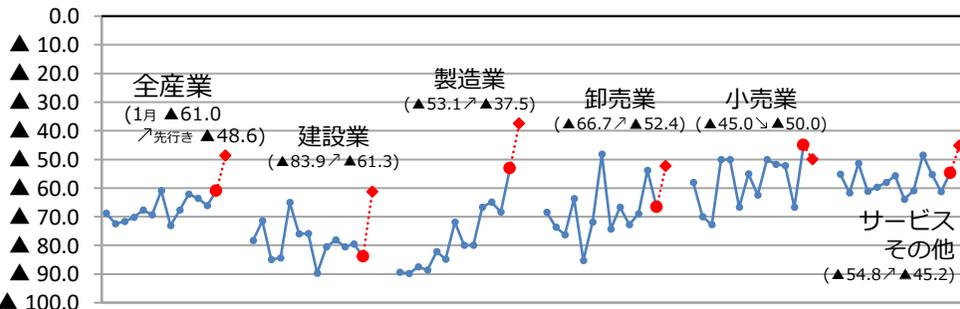
売上D I は▲6.8と前月から8.4ポイントの減少。  
先行きD I は▲6.2と横ばいの見込み。



### 3) 仕入単価D I と先行き見通し

▽仕入単価D I の推移 (2023年1月以降)

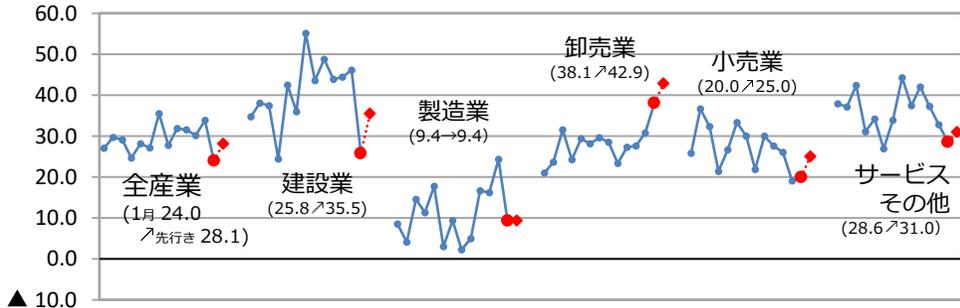
仕入単価D I は▲61.0と前月から5.1ポイントの増加。  
先行きD I は▲48.6と価格の上昇を訴える傾向が弱まる見込み。



### 5) 従業員D I と先行き見通し

▽従業員D I の推移 (2023年1月以降)

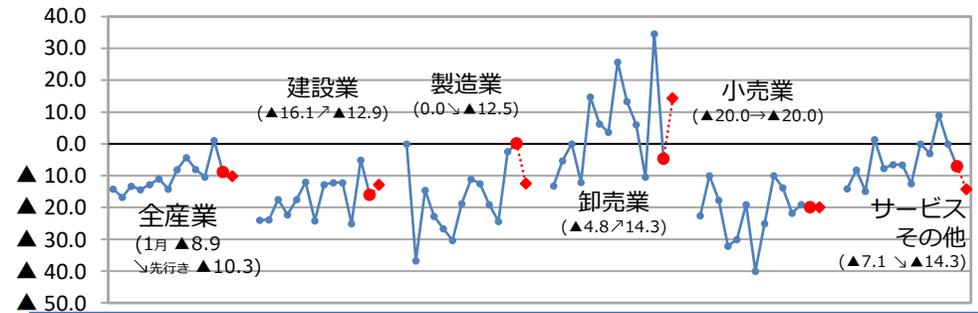
従業員D I は24.0と前月から9.9ポイントの減少。  
先行きD I は28.1で、人手不足感が強まる見込み。



### 2) 採算 (経常利益) D I と先行き見通し

▽採算D I の推移 (2023年1月以降)

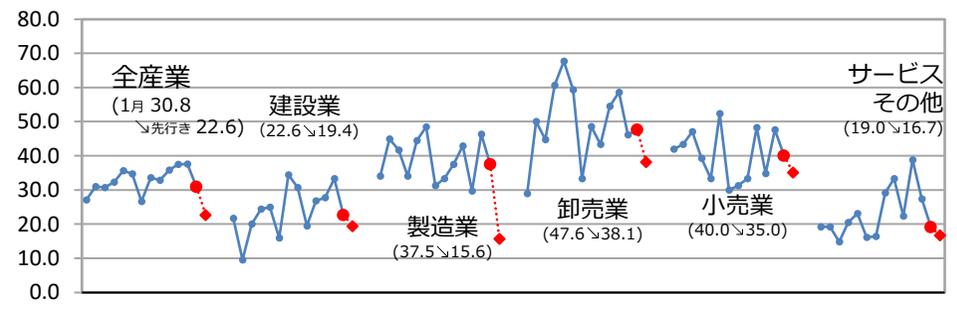
採算D I は▲8.9と前月から10.0ポイントの減少。  
先行きD I は▲10.3と悪化の見込み。



### 4) 販売単価D I と先行き見通し

▽販売単価D I の推移 (2023年1月以降)

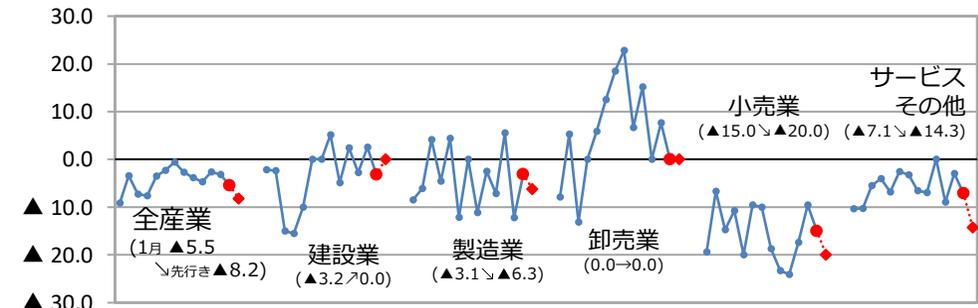
販売単価D I は30.8と前月から6.8ポイントの減少。  
先行きD I は22.6と販売単価の下降の見込み。



### 6) 資金繰りD I と先行き見通し

▽資金繰りD I の推移 (2023年1月以降)

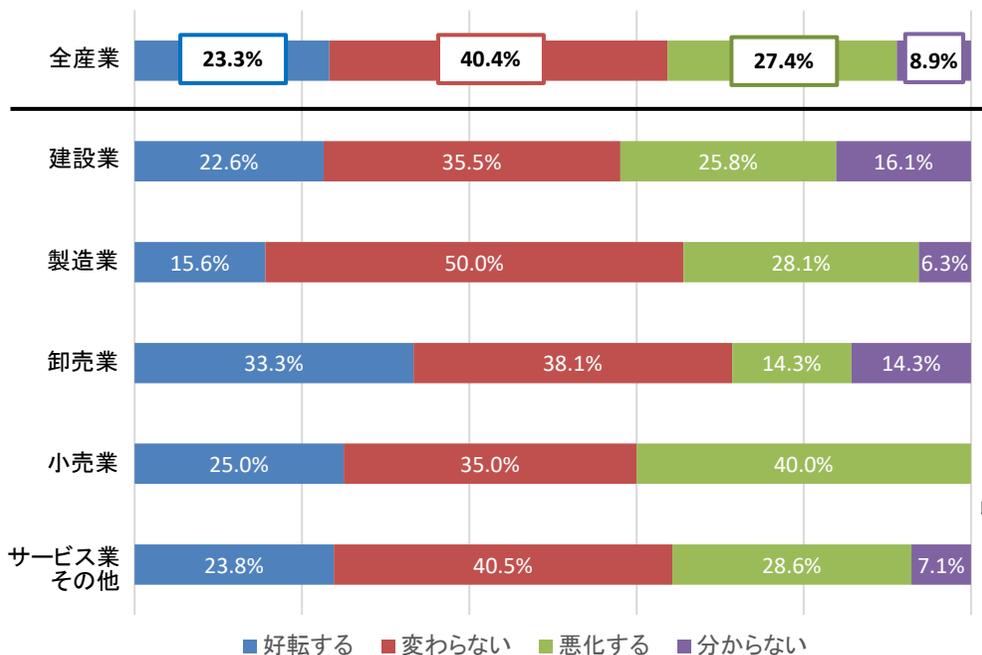
資金繰りD I は▲5.5と前月から2.3ポイントの減少。  
先行きD I は▲8.2と悪化の見込み。



## ②昨年と比較した、今年（2024年）の業況の見通し

- ▶ 昨年と比較した2024年の業況を、「好転する」と回答した企業は23.3%、「変わらない」は40.4%、「悪化する」は27.4%となった。【図1】
- ▶ 業種別に見た際、「好転」の割合が低水準となった製造業（15.6%）や建設業（22.6%）では、資材価格の高止まりによる収益圧迫や、人手不足による売上減少を懸念する声が聞かれた。また、「悪化する」の割合が高い小売業（40.0%）では、仕入単価上昇分の価格転嫁が難しい状況との声が聞かれた。

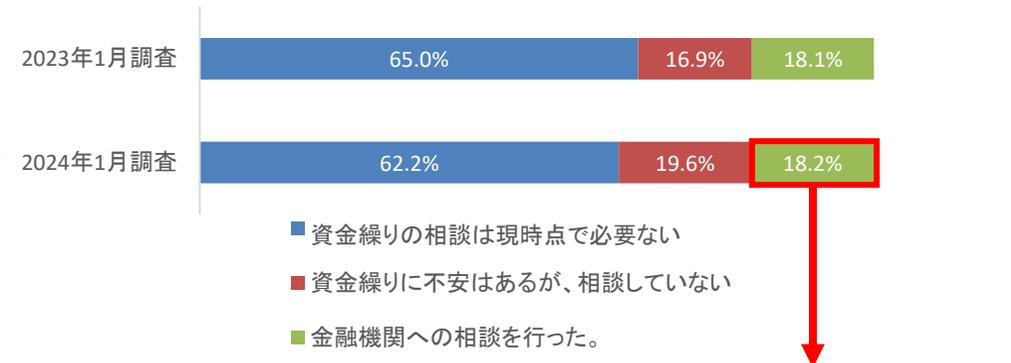
図1 【昨年と比較した、今年（2024年）の業況の見通し】



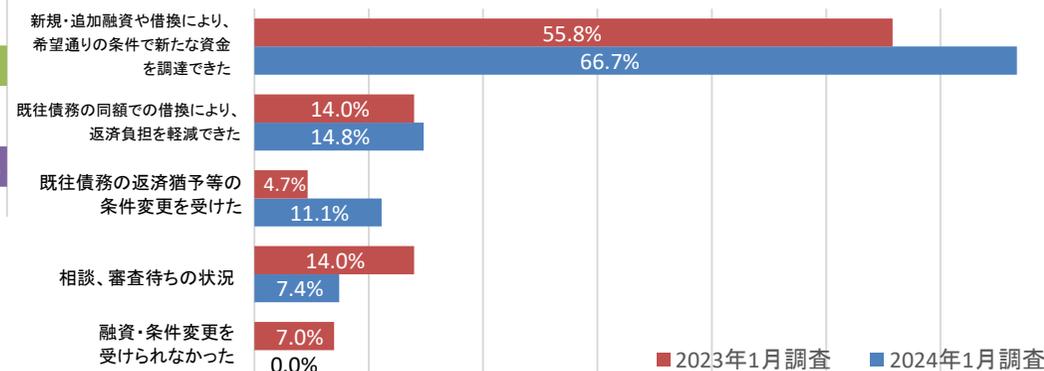
## ③年度末に向けた資金繰りの状況

- ▶ 資金繰りの対応については「金融機関への相談を行った」が2023年1月調査から、0.1ポイント増の18.2%、「資金繰りの相談は現時点で必要ない」は同2.8ポイント減の62.2%となった。また、「資金繰りに不安はあるが、相談していない」は同2.7ポイント増の19.6%となった。【図2】
- ▶ 「金融機関への相談を行った」と回答した企業の具体的な内容については、「新規・追加融資や借換により、希望通りの条件で新たな資金を調達できた」が66.7%で最も多く、「既往債務の同額での借換により、返済負担を軽減できた」が14.8%で続いた。また、「融資・条件変更を受けられなかった」企業は0.0%となり、金融機関の資金繰り対応が進む様子が伺える。【参考】

図2 【資金繰りの対応】



### 参考【具体的な内容（複数回答/上位5項目）】



## ④ 2023年度の新卒採用（2024年4月入社）の動向

- ▶ 2023年度の新卒採用（2024年4月入社）を「実施した」企業は41.8%と、2023年1月調査と比べ1.7ポイント減少。「今年度は実施しなかった」は1.1ポイント増の17.8%、「自社で新卒を採用していない」は0.6ポイント増の40.4%となった。【図1】
- ▶ 新卒採用を実施した企業のうち、「計画通りに採用できた」企業は29.0%と、2023年1月調査と比べ、1.9ポイント減少。「採用できたが計画した人数には満たなかった」企業は2.3ポイント増の38.7%、「募集をしたが、採用できなかった」企業は0.4ポイント減の32.3%となった。【図2】
- ▶ 採用活動にあたり取り組んだ事項については、「インターンシップや職場体験会、社員との交流会の開催」が41.4%と最も高く、「初任給の引き上げ」が34.3%であった。【図3】

図1 【2023年度の新卒採用の動向】

※円グラフは、外側が2024年1月調査、内側が2023年1月調査

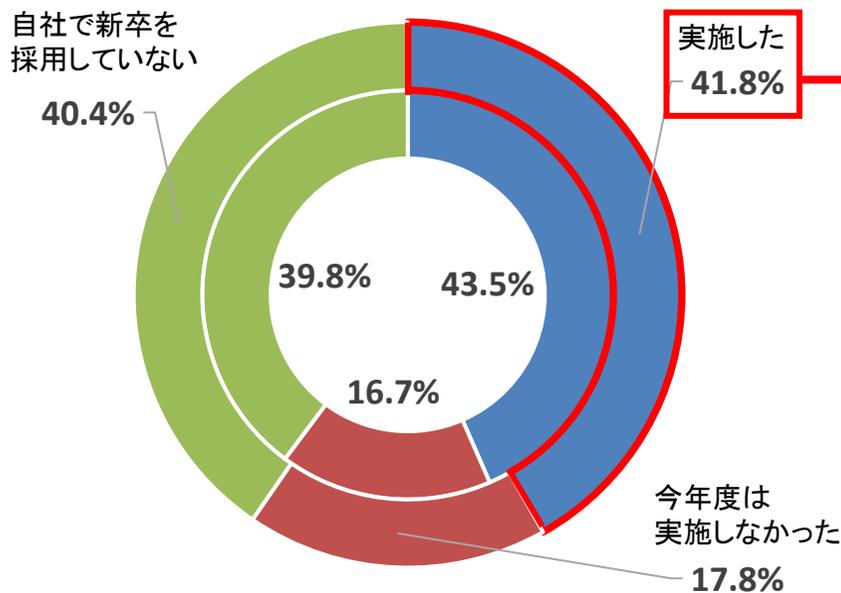


図2 【充足状況について】

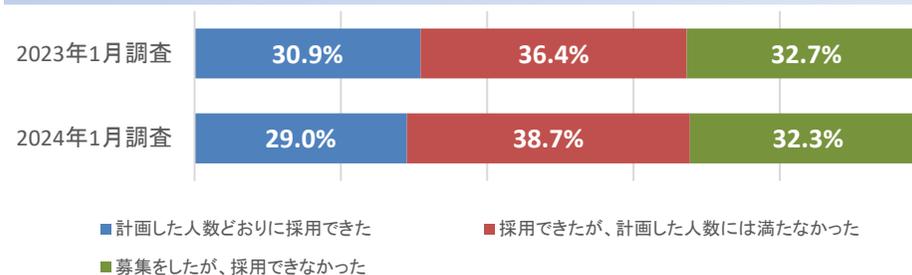
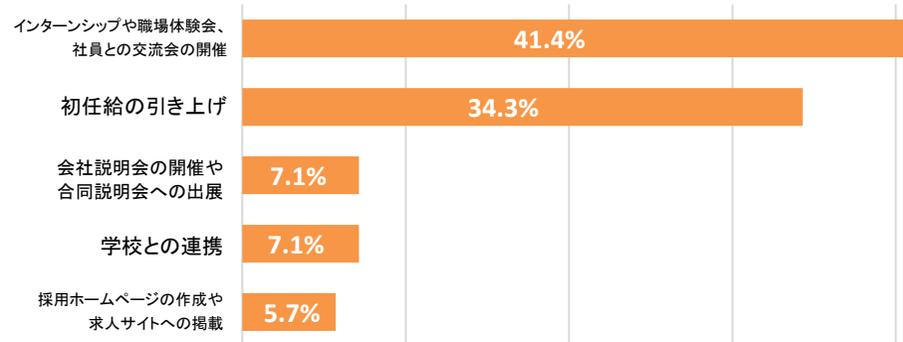


図3 【採用活動にあたり取り組んだ事項（複数回答/上位5項目）】



## （参考）会員の声

- ▶ 資材の高騰が予想を超えるスピードで進んでいる事や、人件費増加分を売価に転嫁できておらず、収益面で苦戦。 … 【製造業】
- ▶ 人手不足の傾向が続いている。また、仕入単価上昇分の全部転嫁は難しい。コロナの影響で廃業した店舗が多い。 … 【小売業】
- ▶ デジタル化の加速により、業界は一段と厳しい状況。光熱費等の高騰を考えると更なる値上げ交渉が必要。 … 【印刷業】